目ざまし時計

電波クロック

取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。
（例：DL○○○、AC○○○、CQ○○○など）

お客様相談室　0120-315-474

www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

説明書番号　FDL-012P

必ずお守りください　安全上のご注意

⚠ 危　険　死亡または重傷を負う可能性が高い内容

＜コイン型リチウム電池について＞
(1) 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
(2) 誤って電池を飲み込むと化学やけど、粘膜組織の貫通など最悪の場合は死に至ることがあり、すぐに取り出す必要があります。万一飲み込んだ、または飲み込んだ恐れのある場合、直ちに医師と相談をしてください。

⚠ 警　告　死亡または重傷を負う恐れがある内容

＜ACアダプターについて（ご使用中熱くなることがありますが、異常ではありません）＞
(1) 付属のACアダプターは本製品の専用アダプターです。本製品以外には使用しないでください。故障、感電、火災の原因となります。
(2) 必ずAC100Vを使用してください。誤った電圧で使用すると、故障、感電、火災の原因となります。
(3) ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、必ずACアダプター本体を持って引き抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき故障、感電、火災の原因となります。
(4) ACアダプターやコードの上に重いものを載せたり、傷つけたりしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
(5) 電源プラグのほこり等は定期的に取ってください。ほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。ACアダプターを抜いて電源プラグを乾いた布で拭いてください。また、長時間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。
(6) 日本国内専用です。海外では使用しないでください。
(7) 必ず屋内で使用してください。
(8) 濡れた手でACアダプターを触らないでください。感電の恐れがあります。
(9) 高温になる所や湿度の多い所（浴室やサウナ）で使用しないでください。
(10) 水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
(11) 分解や改造をしないでください。

＜コイン型リチウム電池について＞
(1) 充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。
(2) 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因となります。

＜梱包用ポリ袋について＞
窒息する恐れがありますので、ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注　意　けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

＜時計の設置場所について＞
落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

＜電池について＞
下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。
(1) 時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
(2) 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
(3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
(4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
(5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
(6) 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
(7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。

＜分解や改造をしない＞
お客様が本製品を分解されると、けがをしたり、故障の原因となる恐れがあります。

＜時計と電池の廃棄について＞
お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。この場合、リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ず「リセットボタン」を押してください。

＜温度・湿度表示について＞
- センサーがジャック内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- 温度・湿度が以下の状態になったときの表示
  ・温度　　−30℃より低い：「Lo」　　＋60℃より高い：「H I」
  ・湿度　　20%より低い：「Lo」　　90%より高い：「H I」
  ただし湿度は、温度が0℃〜＋60℃以外の状態では「−−」と表示されます。

＜LEDについて＞
- 本製品は、バックライトにLEDを使用しているため、その性能上、ご使用開始時より明るさが徐々に低下します。（明るさ“強”でご使用の場合、約36,000時間（4年）※で初期の70%以下に低下します。）
  ※設計寿命であり性能を保証するものではありません。

＜液晶パネルについて＞
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
  ・表示部のシールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
  ・指などで液晶パネルを押したとき

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。
また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
  （例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が−10℃以下になる所。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。（結露に注意してください）
- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
  ・ビルの中、ビルの谷間、地下
  ・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
  ・テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く
  ・工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所
  ・乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
  ・その他電波ノイズを発生させるものの近く
  ・スチール机等の金属製の家具の上や近く

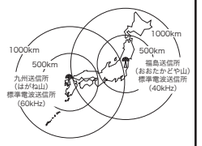
お手入れについて

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。



■電波受信について
標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km〜1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意
- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間は一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。
  （ホームページアドレス www.seiko-clock.co.jp）

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- お買い上げ店で保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- お客様が分解しますと修理不可能になる場合があります。また保証の対象外となります。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

製品仕様　改良のため予告なく変更する場合があります

時間精度：	平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合） （電波受信による時刻修正を行わない場合）
表示精度：	±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
使用温度範囲：	−10℃〜＋50℃ ただし、表示判読可能温度範囲　0℃〜＋40℃
アラーム：	電子音、約5分間オートストップ、約5分間スヌーズ （スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
カレンダー：	2000年1月1日〜2099年12月31日のフルオートカレンダー 月末、うるう年とも修正不要。
六曜表示：	2000年1月1日〜2030年12月31日
温度測定範囲：	0℃〜＋40℃　（測定範囲内での精度±2℃）
湿度測定範囲：	25%RH〜85%RH　（測定範囲内での精度25℃で±8%）
表示内容：	日付（年・月・日・曜日、六曜）、時刻⇔アラーム時刻（午前／午後表示による12時間制または24時間制表示）、周囲温度（℃）・湿度（%）、カレンダー
表示部明るさ：	2段階切り替え式（弱・強）
電源：	専用アダプター 入力：AC100V　50-60Hz　5VA／出力：DC4.5V　300mA
バックアップ電池：	コイン型リチウム電池（CR2032）1個
電池の駆動時間：	約5ケ月（停電時の連続運転した場合）
電波受信機能：	自動受信（午前2時から3時間ごと。次回の受信までクオーツの精度で動いています。） 手動受信

はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みのうえ、ご使用ください。
表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。
※静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。
本製品は、バックライトにLEDを使用しているため、その性能上、ご使用開始時より明るさが徐々に低下します。

付属品

ご使用の前に確認してください。

- ACアダプター 1個
- コイン型リチウム電池（CR2032）1個
- 取扱説明書（本書）1枚
- 保証書 1枚

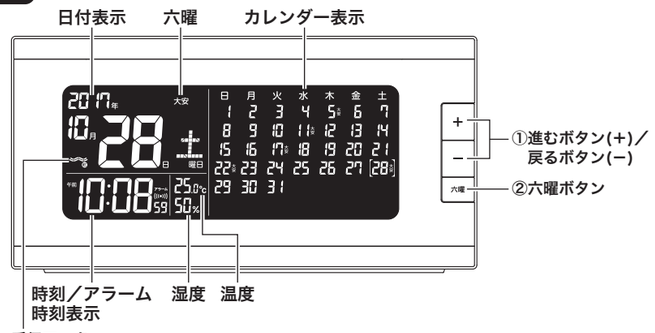
故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
表示が出ない	ACアダプターが接続されていない。	専用ACアダプターを奥までしっかりと差し込んでください。
	きちんとリセットされていない。	確実に「⑧リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーの表示がかけている	・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	確実に「⑧リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	受信に成功していない。	「電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
アラームの音が鳴らない	「③アラームスイッチ」がOFFになっている。	「③アラームスイッチ」をONにしてください。

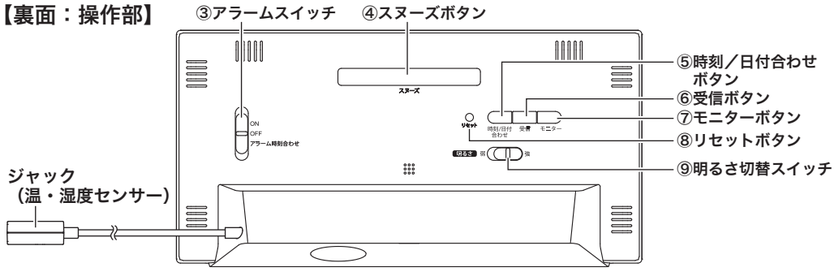
各部の名称

【正面】



受信マーク
24時間以内に電波の受信が成功しているときに表示されます。受信中は点滅します。
Ⓔを表示：福島送信所からの電波を受信
Ⓦを表示：九州送信所からの電波を受信

【裏面：操作部】



①進むボタン（+）／戻るボタン（−）
アラーム時刻、または手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
カレンダーを進めたり、戻したりします。

②六曜ボタン
カレンダー内に該当する日を［　］で囲って点滅させます。

③アラームスイッチ
アラームのON／OFF／アラーム時刻合わせを切り替えます。

④スヌーズボタン
アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が働き、約5分後に再びアラームが鳴ります。

⑤時刻／日付合わせボタン
手動で現在時刻を合わせるときに使用します。

⑥受信ボタン
通常表示（日付・時刻が表示状態）のときに押すと標準電波の受信を開始します。受信中に押すと受信を中止します。

⑦モニターボタン
押している間ずっと、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

⑧リセットボタン
初期化を行います。（電池交換後は先端の細いもので必ず押してください。）

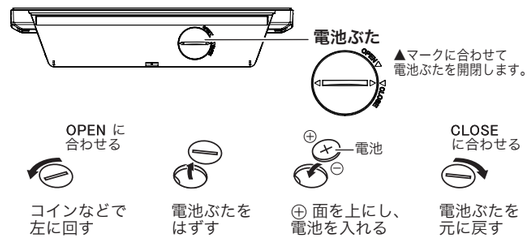
⑨明るさ切替スイッチ
表示部の明るさを切り替えます。

ご使用方法

① 電池を入れる（CR2032 1個）

本体底面の電池ぶたを開けて、電池を入れてください。

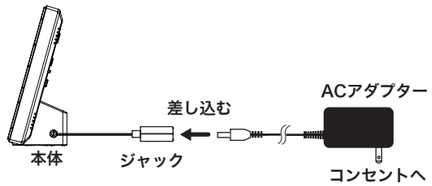
注意	・電池の⊕⊖の向きを間違えないように注意してください。 ・電池の側面を持ってください。 ・⊕⊖面をショートさせると危険です。



・電池は停電などが発生した場合、停電から復帰した後で正しい時刻を表示するため、内部の時刻情報を更新するバックアップ用電池です。
※バックアップ用電池で稼働中は、時刻等の表示および電波の受信は行いません。

② ACアダプターを接続し、コンセントへ差し込む

ACアダプターを本体のジャックへしっかりと差し込んで接続し、コンセントへ差し込んでください。



③ 「⑧リセットボタン」を先端の細いもので押す

表示が全てついた後、時刻「午前12：00」となり、標準電波の受信を開始します。
※「③アラームスイッチ」がアラーム時刻合わせのときは、初期受信は行いません。
※電池を交換したら、必ず「⑧リセットボタン」を押してください。

④ 時計を設置する

本機を使用したい場所に置いてください。
※窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。
・受信中は、Ⓔマーク（またはⓌマーク）が点滅し、受信マークが受信状態に応じて変化します。
・受信に要する時間は最長約16分間です。

[受信成功]
受信マークが表示され、［年］［月／日］［曜日］［時：分］［秒］が正しい日付と時刻に修正されます。
・受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

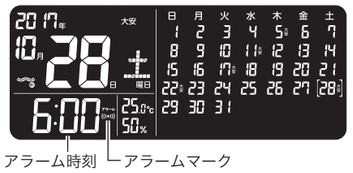
[受信できない]
受信マークが表示されない場合、時刻、日付は修正されません。「電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
・使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。

受信に成功した場合

⑤ アラームを鳴らすには

⑴「③アラームスイッチ」をアラーム時刻合わせにして、アラーム時刻を合わせます。
・時刻表示がアラーム時刻表示に切り替わり、点滅します。
・「①進むボタン（+）／戻るボタン（−）」を押してアラーム時刻を合わせてください。押し続けている間は早送りします。
⑵「③アラームスイッチ」をONにします。
・アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
・アラームマーク((●))が表示されます。
・約5秒間、時刻表示がアラーム時刻表示に切り替わります。

アラームスイッチをONにした直後の状態



⑥ アラームを止めるには

アラームを止めるには２通りの方法があります。

1. アラームを完全に止める
「③アラームスイッチ」をOFFにして止めます。
・アラームマーク((●))が消えます。

2. 約５分後に再度アラームを鳴らす（スヌーズ機能）
「④スヌーズボタン」を押すとアラームが止まり、約５分後に再び鳴り出します。
・スヌーズ中はアラームマーク((●))が点滅します。
・スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。
アラームは約5分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）
この場合、アラームマーク((●))は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

便利な機能

自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる
「⑥受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
・受信状態については、「ご使用方法」をご覧ください。
・うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マークが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
・詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻、日付を合わせる
電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
⑴「⑤時刻／日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
年表示が点滅します。
⑵「⑤時刻／日付合わせボタン」を押すごとに、右図のように順に表示が切り替わり、点滅します。
⑶「①進むボタン（+）／戻るボタン（−）」で日付や時刻を合わせてください。
・「①進むボタン（+）／戻るボタン（−）」を押し続けている間は早送りします。
・5分間「①進むボタン（+）／戻るボタン（−）」が押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。
⑷12／24時間制選択が終了したら、「⑤時刻／日付合わせボタン」を押してください。設定が完了します。

[年合わせ表示]
「⑤時刻／日付合わせボタン」を２秒以上押す。
「①進むボタン(+)／戻るボタン(−)」で年を合わせてください。年は 2000 年～ 2099 年まで合わせられます。
曜日は自動的に合わせます。

[月／日 合わせ表示]
「⑤時刻／日付合わせボタン」を押す。
「①進むボタン(+)／戻るボタン(−)」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。

[時刻合わせ表示]
「⑤時刻／日付合わせボタン」を押す。
「①進むボタン(+)／戻るボタン(−)」で時刻を合わせてください。
「①進むボタン(+)／戻るボタン(−)」を押した瞬間に、秒表示は０秒にリセットされます。

[12／24時間制選択表示]
「⑤時刻／日付合わせボタン」を押す。
「①進むボタン(+)／戻るボタン(−)」で 12 時間制または 24 時間制を選んでください。
「⑤時刻／日付合わせボタン」を押す。
設定が完了し、通常表示に戻ります。

12時間制／24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、「電波を受信できなかった場合」の「2. 手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12 時間制または 24 時間制表示を選んでください。(受信マークが表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークは表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

明るさ切替機能について

表示部の明るさを2段階に切り替えることができます。
「⑨明るさ切替スイッチ」を弱・強のいずれかに合わせてください。

カレンダーの月めくりを行なう

・通常表示のとき「①進むボタン（+）／戻るボタン（−）」を押すとカレンダーを進めたり、戻したりできます。
・「②六曜ボタン」を約２秒以上または「④スヌーズボタン」を押すと、通常表示に戻ります。
・5分間ボタンが押されなかった場合、自動的に通常表示に戻ります。
・通常表示またはカレンダーの月めくりのとき、カレンダー表示内の日付横に大安日を表示します。

六曜を表示させる

・通常表示のとき「②六曜ボタン」を押すと液晶の日付表示が消え、六曜が表示され、カレンダー内に［　］で囲って点滅します。
・ボタンを押すごと「大安」→「赤口」→「先勝」→「友引」→「先負」→「仏滅」→「通常表示」の順番で表示します。
※六曜は 2000 年～ 2030 年まで表示します。
・「②六曜ボタン」を約２秒以上または「④スヌーズボタン」を押すと、通常表示に戻ります。
・5分間ボタンを押されなかった場合、自動的に通常表示に戻ります。

試し鳴らしについて

「⑦モニターボタン」を押し続けている間、アラームが鳴ります。

自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）
⑴ 時刻表示に「OFF」が点滅表示されるまで、「⑥受信ボタン」を8秒以上押し続けてください。
⑵「電波を受信できなかった場合」の「２. 手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
・この機能を設定した後も「⑥受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
・この機能を解除するには、時刻表示に「ON」が点滅表示されるまで、「⑥受信ボタン」を８秒以上押し続けてください。